

模擬試験は終わってからが大切！

模擬試験は受験するだけでも財産ですが…。 ※河合塾の全統模試も受験しよう！

## 模擬試験の受験直後

# 入試問題での的中中は模擬試験のやり直しから

「〇〇大学の入試問題で的中！」とよく大手予備校などが宣伝しますが、その問題をしっかりと理解し、入試本番で正解しないと意味がありません。ですから、答え合わせだけで終わってはいけないのです。

3年生にもなれば模試の解説は充実しているはずですが。

- ・正解した問題でも→本当にその理解・解法で合っているのかを確認。
- ・間違ったところ→解説だけでなく、教科書・参考書を見て徹底的にやりなおす。

これを繰り返すと…

- ・よく似た問題をまた間違ったら→**自分の苦手分野**  
※コピーしてノートに貼って「苦手問題ノート」を作る人もいます。
- ・一度正解したのに間違えた→本当に理解していないことがわかる

模擬試験は「3回(受験直後・1週間後・1ヶ月後)やり直すといい」と言われます。

## 結果が帰ってきたら

### ①(2・3年生) 志望校判定に一喜一憂しない！まずは第一志望校でC判定を目指す！

近年模試においてよく言われていることが、「私立大はもちろん、国公立大でもC判定(合格可能性40%)・D判定(合格可能性30%合格)でも結構合格する」ということです。それは少子化に加え、現役生は試験前日まで伸びる!ことの表れです。国公立大はセンター試験の得点で決まります。また、国公立大・私立大問わず、A・B判定をとっている人は、それより偏差値が上位の学校に合格・進学するからです。まず「**第一志望校でC判定を3年秋でとること!**」こうして、その学校が「チャレンジ校」になります。まず大切なことは、なるべく早い段階で、C判定でなくとも「D判定」や「E判定でも、D判定に近いE判定」をとることです。つまり、判定の内容(自分の学力位置)を見ることが大切です。

### ②各教科・教科のデータ分析を見ること

それぞれの教科・科目のどういう分野が得意か、苦手かを知るのです。自身の戦力を分析することは大切で、入試戦略にもつながりますし、何より今後の短期・長期の勉強計画を立てる重要なヒントになるでしょう。まずは自分の得意教科を伸ばし、さらに2教科目を伸ばしましょう。そして、この2教科内に英語が入っていることが望ましいのです。なぜなら「英語を制する者は、大学入試を制する」からです。

## 1年生へ 大学見学&進路フェスタを終えて、文理選択も

本校卒業生の進路先ですが、だいたい全国平均と同じ約60%が、4年制大学・短大に進学します。この夏休みに進路を考える上で、4年制大学・短大への進学を第一に考えることから始めましょう。また、先日の大学見学はどうでしたか?今までとは違う世界があったのではないのでしょうか。また現時点で専門学校進学や就職を考えている人でも、違う世界を見聞きすることには大いに意味があるのです。高校卒業後の進路を考えるには、様々な情報を自身で得て、**比較することから始まります。**

夏休みが明けると文理選択が行われます。これは、進路選択の最初の段階です。これから進みたい方向がはっきりと決められていない人は、時間のある夏休みに、「大学で何を学びたいのか」「将来どんな仕事に就きたいのか」など、自分の将来の夢についてじっくりと考えてみましょう。

## 2年生へ 進路ガイダンス「模擬授業体験」を終えて

時間がある夏休みは、進路についてじっくりと考えるよい機会です。まだ進路を決めていない人は、この夏休みに本やインターネットなどを活用して、社会の現状を学び、どのような「生き方」をするか考えてみましょう。そして、夏休みは多くの大学でオープンキャンパスが行われます。参加してみると、進路選択のヒントが得られると思います。オープンキャンパスに参加する傾向はここ数年加速しており、多くの高校1・2年生が、大学を生で感じ、学習のきっかけにしようとしているためか、京都大などはあっという間に定員に達してしまいます。大阪大は一部、神戸大はほぼ定員に達している状況です。近隣の国公立総合大学では、大阪市立大(8/7・8)が参加自由となっています。私立大なら関西学院大・甲南大(ともに8/4・5)・武庫川女子大(7/21・22ほか)などが、近場で参加しやすいのではないのでしょうか。ホームページをチェックして下さい!

## 3年生へ 進路実現のために全力で取り組む夏!

- 志望校の入試情報を可能な限り収集する。
- オープンキャンパスへの参加など、志望校に実際に足を運んでみる。
- 自分の実力、弱点をきちんと把握する。
- 「何を」「いつ」「どのように」取り組むのかを明確にし、優先順位をつけて勉強する。
- 模擬試験や定期考査の問題に再度取り組み、勉強の成果を確認する。
- 周りに惑わされず、自分のペースで勉強する。

<学習計画を立てる際のポイント>

### ①7月下旬・②8月上旬・③8月中旬・④8月下旬に時期を分けよう

長い夏休みに効率的に学習を行うためには、時期を区切って学習計画を立てることがポイントです。夏休みを4つの時期に分けて、いつ、何に取り組むかを考えてみましょう。

## オープンキャンパスには制服で参加しよう!(入試の第一歩)